

ごあいさつ



トーナメントディレクター

高橋 孝由
(NTTビジネスアソシエ東日本)



株式会社ダンロップスポーツ
代表取締役社長

水野 隆生

第31回ダンロップ社会人テニス選手権・東京大会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。天候不順となった今春、4月の日照時間も短く、東京では観測史上最も遅い降雪を記録するなど寒暖の差も顕著であった。

ゴールデンウィークに入り爽やかな初夏を迎える今日この頃ですが、本格的なテニスシーズンの幕開けの前に体力作りに励んでおりますでしょうか。

昨年から再びグランドスラムに挑んでいるクルム伊達選手。本戦ストレートインが確実な全仏オープンで14年ぶりのグランドスラム勝利を目指すクルム伊達選手には、勇気と感動を与えると同時にテニスファン、観客に取りましても素晴らしい技術・精神力に観客を魅了するに間違いのないと思います。

そして恒例の真夏の大トーナメントである社会人選手権大会も大いに盛り上げていただきたいと思えます。また、スポンサー各社様には毎年のご支援に改めてお礼申し上げます。

本大会は男女ともクラス別で実施し、Aクラスを除き初戦で敗れても敗者戦<サバイバル戦>により最低2試合はできます。優勝を目指して熱い戦いが展開されることを期待すると共に、ラストショットまで、集中力を切らさずにどうぞ自分の力を遺憾なく発揮していただきたいと思えます。

今回も約1,000名以上の参加者に満足いくような大会運営を目指し少人数で運営いたしますので、皆様のご協力も欠かせません。どうぞ選手の皆様もご協力をお願いいたします。

最後に本大会のご後援いただくSRIスポーツ株式会社様、株式会社ダンロップスポーツ様に対し御礼申し上げますと共に、出場チーム選手にとって実りある大会となりますようお祈りいたします。

第31回ダンロップ社会人テニス選手権・東京大会が今年も盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

本大会は、各企業で活躍される社会人の方々のテニスのレベルアップと、お互いの交流をより一層深めることを目的として創設された大会と承っております。これもひとえに、本大会を創設されました東京テニス協会実業団委員会をはじめとする関係各位の熱意と努力の賜と確信いたしております。

種目も男子・女子・壮年それぞれで多くのクラス分けがなされており、これまでAクラスに出場された選手の中には、元日本リーグ経験者やこの大会での優勝を機に全日本テニス選手権に出場された選手もおられます。また、社会人になって初めてラケットを握りDクラスから参加し、ついにはAクラスにまで登りつめた方もおられると伺っております。

このように選手の実力に合わせてエントリーができるため、参加者も延べ1,000名以上のビッグな大会となり、社会人テニス界の発展に多大な貢献をしております。

このような意義のある素晴らしい大会に、私どもSRIスポーツグループが協賛会社として、協力させていただきますことは誠に光栄でございます。今後とも微力ではありますがお役に立てるべく努力していきたいと考えております。

最後に、本大会の開催に際しまして、主催者であります東京都テニス協会様、運営にあたられます東京都実業団委員の皆様、各分野でご尽力されたました関係各位に心から敬意を表しますとともに、本大会のますますのご発展をお祈り申し上げます。